



株主の皆様へ



Yellow Hat

第65期 中間株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

【証券コード：9882】



代表取締役社長
堀江 康生

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第65期第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、まん延防止等重点措置の解除以降から経済活動の正常化の動きが見られました。しかしながら一方で、コロナ変異株による第7波の流行、エネルギー価格や原材料価格の上昇、急激な円安の進行、これらを要因とした物価上昇など、個人消費マインドを低下させる懸念材料があり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当カー用品業界におきましては、タイヤメーカー各社による価格改定が2度実施され、値上前の駆け込み需要が発生したこともあり、タイヤ売上は期間を通して好調に推移いたしました。一方で、世界的な半導体不足の影響による新車販売数減少で、カーナビゲーションやドライブレコーダーなどオーディオビジュアル商品の売上は前年同期間と比べて更に低調となりました。

このような環境下におきまして、当社グループでは、クルマは生活をする上で重要なインフラであることから、引き続き各種感染防止策を講じながら、整備作業及びカー用品の提供を継続してまいりました。特に、経営戦略方針の一つであるタイヤを中心とした消耗品の拡販や、取付・整備作業やメンテナンスメニューを拡充、更に需要増となっている二輪事業の強化を推進してまいりました。

今後とも皆様の温かいご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

基本方針

- ① カー用品販売事業の拡大
- ② 車検、ピット技術事業の拡充
- ③ 二輪事業の強化
- ④ 卸売事業の強化
- ⑤ 活力ある会社づくり

株式情報

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お知らせ

会社法改正により

株主総会資料が原則 **ウェブ化** されます

(※インターネット経由でサービスやシステムを利用できます)

これからは

議決権
行使書

+

通知書面

アクセス
URL

➡

ウェブで確認

株主総会
資料

本制度に関するお問い合わせ先はこちら

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505
(受付時間:土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/denshi.html>



会社概要

商号	株式会社イエローハット
所在地	東京都千代田区岩本町一丁目7番4号 イエローハット本社ビル
設立	1962年3月
資本金	150億7,253万円
従業員数	3,839名(連結) 148名(単体)
主な事業内容	カー用品等の販売(卸売及び小売)

役員

(2022年9月30日現在)

代表取締役社長	堀江康生
専務取締役	佐藤和幸
専務取締役	白石理
取締役	木村昭夫
取締役	湊谷秀光
取締役	斎藤四郎
取締役	久保妙子
常勤監査役	入江義一
常勤監査役	木村義美
監査役	服部久男
監査役	田村昭

※取締役 湊谷 秀光、斎藤 四郎、久保 妙子は社外取締役であります。
また、監査役 服部 久男、田村 昭は社外監査役であります。

株式会社 イエローハット

〒101-0032
東京都千代田区岩本町一丁目7番4号
イエローハット本社ビル
TEL:03-6866-1680
ホームページ www.yellowhat.jp/



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

この株主通信は地球環境に配慮した
FSC森林認証紙と植物油インキを
使用しています。

上期の業績

当社第65期第2四半期連結累計期間におきましては、オーディオビジュアル商品の販売低調の影響はあったものの、タイヤ等の消耗品販売の好調と取付に伴う工賃収入の増加により、売上高は663億92百万円(前年同期比100.1%、94百万円増)、戦略的な商品仕入による利益率の向上や工賃収入の増加等により、売上総利益は289億8百万円(前年同期比105.2%、14億16百万円増)となりました。販売費及び一般管理費は、店舗人員数の適正化の取組や

効率的な販売促進活動により経費の発生を抑えられたことで、230億59百万円(前年同期比99.5%、1億13百万円減)となりました。

その結果、営業利益は58億49百万円(前年同期比135.4%、15億30百万円増)、経常利益は62億62百万円(前年同期比133.5%、15億72百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては42億16百万円(前年同期比132.2%、10億26百万円増)となりました。

出退店の状況

イエローハット店舗の出退店の状況です。

2022年4月にトレッド札幌東苗穂店(北海道)、7月に甲州塩山店(山梨県)、8月に府中西原店(東京都)、北見三輪店(北海道)、大津大將軍店(滋賀県)、新原町店(福島県)の計6店舗を開店、2022年4月にトレッド札幌白石店(北海道)、6月に草津店(滋賀県)、鈴鹿玉垣店(三重県)、8月に府中白糸台店(東京都)、原町店(福島県)、トレッド南岩国店(山口県)、9月にイオンタウン伊賀上野店(三重県)の計7店舗を閉店いたしました。

イエローハット店舗以外では、2022年9月にバイク館

千葉鶴沢店(千葉県)、バイク館半田店(愛知県)の計2店舗を開店、2022年4月に八王子2りんかん(東京都)を閉店いたしました。また、2022年4月にイエローハットコイン洗車場豊田(愛知県)、7月にイエローハットコイン洗車場前橋上小出(群馬県)の計2店を開店いたしました。

以上の結果、当社第65期第2四半期連結会計期間末の店舗数は、イエローハット734店舗、2りんかん58店舗、バイク館62店舗の合計854店舗、イエローハット車検センターが7店舗、イエローハットコイン洗車場が13店となりました。

株主優待情報

3月末及び9月末の確定時に、100株以上保有されている株主の皆様へ、全国の「イエローハット」「2りんかん」「バイク館」の各店舗及び「イエローハット車検センター」でご利用いただける『お買物割引券(300円割引券)』を送付いたします。1回のお買上げ金額1,000円(税込)毎に1枚ご使用いただけます。

また、全国の「イエローハット」店舗で「油膜取りウォッシャー液 2.5L1本」と引換えができる「商品引換券」を1枚送付いたします。

100株以上 割引券10枚(3,000円分) + 商品引換券1枚
1,000株以上 割引券25枚(7,500円分) + 商品引換券1枚
3,000株以上 割引券40枚(12,000円分) + 商品引換券1枚
5,000株以上 割引券50枚(15,000円分) + 商品引換券1枚



「お買物割引券」



「商品引換券」

通期の連結業績予想及び配当予想

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました数値からの変更はございません。

通期の連結業績予想(2022年10月31日発表)

売上高	152,000百万円
経常利益	15,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	9,800百万円
1株当たり当期純利益	212.31円

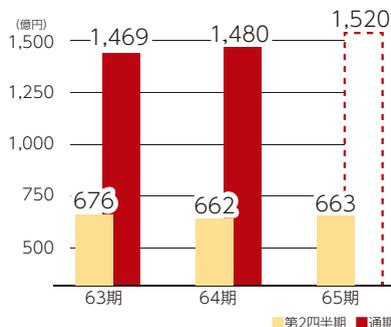
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

配当(2022年10月31日発表)

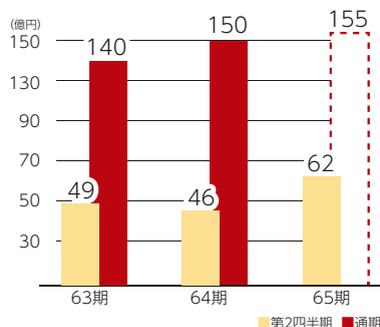
第2四半期末: 31円(変更なし)	期末31円(予想)	年間: 62円(予想)
-------------------	-----------	-------------

連結財務諸表

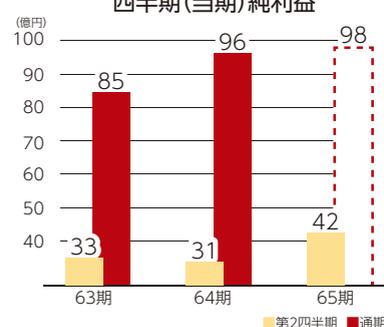
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



連結貸借対照表 (要旨)

科目	ご参考 (単位:百万円)		
	当第2四半期 2022年 9月30日現在	前第2四半期 2021年 9月30日現在	前期 2022年 3月31日現在
[資産の部]			
流動資産	50,403	51,891	52,658
固定資産	78,323	70,898	73,760
資産合計	128,727	122,789	126,418

科目	ご参考 (単位:百万円)		
	当第2四半期 2022年 9月30日現在	前第2四半期 2021年 9月30日現在	前期 2022年 3月31日現在
[負債の部]			
流動負債	22,474	23,901	23,040
固定負債	5,120	5,645	5,079
負債合計	27,594	29,547	28,119

科目	ご参考 (単位:百万円)		
	当第2四半期 2022年 9月30日現在	前第2四半期 2021年 9月30日現在	前期 2022年 3月31日現在
[純資産の部]			
株主資本	101,779	93,722	98,863
その他の包括利益累計額	△828	△663	△746
新株予約権	175	180	175
非支配株主持分	5	1	5
純資産合計	101,132	93,242	98,298

連結損益計算書 (要旨)

科目	ご参考 (単位:百万円)		
	当第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	66,392	66,298	148,038
売上総利益	28,908	27,492	61,138
販売費及び一般管理費	23,059	23,173	47,047
営業利益	5,849	4,318	14,090
営業外収益	509	470	1,058
営業外費用	96	99	134
経常利益	6,262	4,690	15,014
特別利益	11	5	8
特別損失	52	54	878
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,222	4,641	14,144
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	4,216	3,190	9,659

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	ご参考 (単位:百万円)		
	当第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,842	1,072	9,732
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,286	△3,819	△9,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,338	△1,832	△3,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,782	△4,578	△3,105
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△21	△21
現金及び現金同等物の四半期末<期末>残高	6,120	9,428	10,902

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。